

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学 芸 事 業 報 告 書

令和6年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)	企画展示・収蔵資料展示・・・・・・・・・・・・・・・・	2
①	第38回企画展 芭蕉の俳風 ～新しみは俳諧の花なり～・・・・・・・・	2
②	第39回企画展 芭蕉さんの姿・・・・・・・・	4
③	第40回企画展 川と道の織りなす芭蕉の旅・・・・・・・・	6
2	教育・普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(1)	一般向けの活動・・・・・・・・・・・・・・・・	8
①	企画展関連講座・・・・・・・・・・・・・・・・	8
②	おおがき芭蕉大学・・・・・・・・・・・・・・・・	8
③	おおがき先賢大学・・・・・・・・・・・・・・・・	8
④	総合監修者講演会・・・・・・・・・・・・・・・・	8
⑤	ギャラリートーク・・・・・・・・・・・・・・・・	9
⑥	その他・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動・・・・・・・・	11
(3)	博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・	13
(4)	講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・	14
3	資料の収集活動・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(1)	寄附資料・・・・・・・・・・・・・・・・	16
(2)	購入資料・・・・・・・・・・・・・・・・	17
(3)	預託資料・・・・・・・・・・・・・・・・	18
(4)	資料補修・・・・・・・・・・・・・・・・	18

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場면을、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場면을再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

なお、令和6年度は、芭蕉生誕380年の節目であったため、夏に開催した第39回企画展においても松尾芭蕉や『奥の細道』関連の内容を取り上げた。

① 第38回企画展 芭蕉の俳風

～新しきは俳諧の花なり～

1) 内 容

芭蕉の門人土芳が師の考えなどをまとめた『三冊子』の中に「新しきは俳諧の花也」という言葉がある。新しさを追求しようとする姿勢こそが俳諧の真髄であるというのである。

若い頃の芭蕉は、言葉遊びを中心とした貞門俳諧や談林俳諧に親しんでいた。しかし、天和期（1681～84）頃には、当時流行を見せた字余りや漢詩文調の句をつくるようになる。さらに、貞享期（1684～88）以降、旅を重ねることで俳諧の道に没頭するようになり、見過ごされがちな対象にも価値を認め、句に表現するようになる。

芭蕉は、実見を通して季語を捉え直したり、切字の再発見と開発によって新たな句の構造を創り出したりした。芭蕉の創作の根底には、和歌・漢詩・連歌で詠み表されてこなかった題材も俳諧で取り上げようとする飽くなき探求心があった。

本企画展では、生涯にわたり新しい境地を求め、俳風を変化させた芭蕉について、関連する真筆作品などを通して紹介した。

2) 会 期 令和6年3月30日（土）～令和6年5月12日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 4,351人

6) 出 品 点 数 22点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉筆「三日月や」等四句色紙（福田美術館蔵）
- ・芭蕉筆「ふる池や」発句短冊 合装露川極書（福田美術館蔵）
- ・天和2年3月20日付木因宛芭蕉書簡（大垣市立図書館蔵）
- ・芭蕉筆「なにの木の」等二句懐紙（個人蔵）
- ・芭蕉筆「あら海や」句文懐紙（当館蔵）
- ・芭蕉筆「洒落堂記」懐紙（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

奥の細道むすびの地記念館
第38回企画展

芭蕉の俳風

～新しきは俳諧の花なり～

「清波の国よふ」文化祭2024
また「なになの木の」等二句懐紙をめぐって
2024年3月30日～5月12日（土）

令和6年 3/30(土)～5/12(日)

開催時間 9:00～17:00

とろろ 大田市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

大田市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大田市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催 大田市・大田市教育委員会
幹事 伊藤 ひとみ 文化祭事務局 〒503-8401 岐阜県大田市奥の細道2丁目29番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <https://www.city.ogaki.jp/>
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス <http://www.basho-ogaki.jp/>
※奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス、奥の細道むすびの地記念館のホームページにアクセスしてください。

施設案内

案内係	芭蕉館・先鋒館	観光・交流館
料 金	一般300円 団体150円 (18歳未満は無料)	無料
観覧時間	午前9時～午後5時 午後5時～午後7時 休 日 日曜・月曜・12月29日～1月3日・2月29日	

記念館HP

チラシ（表）

芭蕉の門人、土芳が師の考えをまとめた「二、三の芭蕉の中に、新しきは俳諧の花也」という言葉があります。新しきを追求しようとする姿勢こそが俳諧の真諦であるといえます。若い頃の芭蕉は、言葉遊びを中心とした直門の調や、談林俳諧に親しんでいました。しかし、天保期（一六八〇～一六八八）頃には、當時流行を見せた子余りや漢詩文調の句をつくようになります。さらに、寛政期（一六八四～一六八八）以降、旅をかねることで、俳諧の道に没頭する風狂の精神に至り、見聞こそが心を対象にも、価値を認め、句に表現するようになります。芭蕉は、意見を述べて争論を避けた切字、再吟と「閑寂」によって新たな句の構造を創り出したりしました。芭蕉の創作の根底には、和歌・漢詩・連歌で読み返さなかつた題材も俳諧で取り上げようとする鋭く探究心がありました。第38回企画展では、生涯にわたり新しい境地を求め、俳風を変化させた芭蕉について、関連する芸術作品などを紹介し紹介します。

展示品

- 芭蕉筆「三日月夜」等四句巻紙（複製品）
- 芭蕉筆「ふる夜や」等四句巻紙（複製品）
- 天保2年3月20日付 木刻芭蕉書簡（複製品）
- 芭蕉筆「なにの木の」等二句懐紙（本人蔵）
- 芭蕉筆「あらばや」等二句懐紙（複製品）
- 芭蕉筆「あはれ」等二句懐紙（複製品）
- 「蛙色」俳人蔵 ほか

企画展関連講座

日 程	4月21日（日） 14:00～15:30
テ マ	初公開 芭蕉筆「なにの木の」等二句懐紙をめぐって
講 師	清登 典子 氏（筑波大学名誉教授）
場 所	大田市奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1（岐阜県大田市船町2-26-1）
定員・受講料	70名 無料
申込方法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化祭事務局へ郵送・持参・FAXまたは電話。 奥の細道むすびの地記念館ホームページ（ http://www.basho-ogaki.jp/ ）より 〒503-8401 岐阜県大田市奥の細道2丁目29番地教育委員会 文化祭事務局 TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715
申込 期 間	3月4日（月） 8:30～4月19日（金） 17:15

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 初公開 芭蕉筆
企画展関連講座 「なにの木の」等二句懐紙をめぐって

参加申込用紙

名 前

住 所

電話・FAX番号

FAX

【注意事項】 申込者の個人情報は、適切に管理し、本事業以外での利用には一切使用しません。→申込受付の履歴については連絡しません。当日、会場に到着してください。会場整理のため、入館の都合上、できる限り15分までに到着してください。

チラシ（裏）

② 第39回企画展 芭蕉さんの姿

1) 内 容

芭蕉は、貞享元年（1684）8月中旬から翌年4月末にかけて東海・近畿地方を巡って以降、『野ざらし紀行』をはじめとする紀行文のもととなる旅を重ねていく。「旅の詩人」や「漂泊の俳諧師」などとも称されるように、旅を通して新しい俳風を求め続けた。

俳諧に対する芭蕉の姿勢は、門人たちによって様々に受け止められる。そして、時代が移り変わる中、捉え直しと増幅を伴いつつ、人々の間に広く浸透していく。18世紀末になると、芭蕉は、百回忌の節目と相まって、神格化・仏格化され、俳諧史上、傑出した俳人として位置づけられることとなる。

本企画展では、俳人として生きた〈人間芭蕉〉の姿と後世の人々が思い描いた〈俳聖芭蕉〉の姿について、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和6年7月13日（土）～令和6年8月25日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 2,635人

6) 出 品 点 数 19点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉評点「有難や」点巻断簡（当館蔵）
- ・芭蕉筆「ひよろひよろと」句画賛（個人蔵）
- ・芭蕉筆「こもり居て」句短冊（個人蔵）
- ・元禄3年5月9日付（推定）又七（乙州）宛芭蕉書簡（当館蔵）
- ・元禄5年2月18日付曲水宛芭蕉書簡（個人蔵）
- ・月樵画・奚花坊賛「やま路来て」句芭蕉像（当館蔵）
- ・梅岳画・多代女賛「ものいへば」句芭蕉坐像（当館蔵）
- ・曲阜筆 芭蕉涅槃図（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

奥の細道むすびの地記念館 第39回企画展

芭蕉さんの姿

「芭蕉の風さふ」文化祭2024

ふるさと一歩で「ふるさといへ」～芭蕉文化の継承～

2024年10月19日(土)～11月24日(日)

令和6年

7/13^土～8/25^日

開館時間 9:00～17:00

とこ 大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市都町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催 / 大垣市・大垣市教育委員会
共催 / 大垣市 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市文の内2丁目2番地
TEL 0584-81-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.jp/>
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス <http://www.basho-ogaki.jp/>
※奥の細道むすびの地記念館ホームページで、最新の展示内容と情報などをお知らせいたします。

ギャラリートーク
(学芸員による企画展示解説)

〈企画展示室〉
7/14(日)・7/21(日)
8/11(日)・8/25(日)
いづれも14:00～ 各30分程度

参加費無料
(申し込み要)

企画展関連講座
(記念館 多目的室1)

渚子・素堂との交友から見る
芭蕉の紀行文

8/18(日) 14:00～15:30

講師 渡辺 真二
(公益財団法人渚子素堂資料館館長)

受講料無料 定員70名
(先着順・申込要)

施設案内

利用時間	利用料 / 入館料	貸付 / 貸出料
休 日	一般300円 学生150円 (18歳以下は無料)	無料
貸付料	半日8時～15時55分 1日16時～17時55分	半日8時～15時55分 1日16時～17時55分
休 日	祝日・年末年始	祝日・年末年始

記念館HP

QRコード

「誰か」のことじゃない。

チラシ（表）

芭蕉は、貞享元年（一六八四）八月中旬から翌年四月末にかけて東海・近畿地方を巡って以降「野ざらし紀行」をはじめとする紀行文のもととなる旅を重ねていきます。「旅の詩人」や「漂泊の俳諧師」とも呼ばれるように、旅を通して新しい俳風を求め続けました。俳諧に対する芭蕉の姿勢は、門人たちにあって様々に受け止められます。そして、時代が移り変わるなか捉え直しと増幅を伴いつつ人々の間に広く浸透していきます。十八世紀末になると芭蕉は、白岡恋の面目と相まって神格化・仏格化され俳諧史に位置した俳人として位置づけられるようになります。第三十九回企画展では俳人として生きていく人間芭蕉の姿と後世の人々が思い描いた俳聖芭蕉の姿についてゆかりの作品や資料を通して紹介します。

企画展関連講座

日 程	8月18日(日) 14:00～15:30
テ ー マ	渚子・素堂との交友から見る芭蕉の紀行文
講 師	渡辺 真二 (公益財団法人渚子素堂資料館館長)
場 所	大垣市奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1 (岐阜県大垣市都町2丁目26番地1)
定員・受講料	70名 無 料
申 込 方 法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXでも可 〒503-8601 岐阜県大垣市文の内2丁目2番地 TEL 0584-81-8067(直通) FAX 0584-81-0715
申 込 期 間	6月17日(日) 8:30～8月16日(金) 17:15

FAX

0584-81-0715

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座

渚子・素堂との交友から見る芭蕉の紀行文

参加申込用紙

お名前

姓 前

住 所

〒 -

電話・FAX番号

電 話

FAX

【注意事項】 申込用紙は、申込後、郵送・持参、文化振興課の受付窓口にて受け取り可能です。申込用紙の送付についてはお返事はいたしません。申込用紙の送付は、申込後、郵送・持参、文化振興課の受付窓口にて受け取り可能です。申込用紙の送付は、申込後、郵送・持参、文化振興課の受付窓口にて受け取り可能です。

チラシ（裏）

③ 第40回企画展 川と道の織りなす芭蕉の旅

1) 内 容

『奥の細道』の冒頭には、「舟の上で一生を過ごす者や、馬のくつわを引いて老年を迎える者は、日々が旅であって旅をすみかとしている」とある。船頭や馬子の生涯は旅そのものである、というのである。船に乗って川を行き来したり、馬に乗って道を歩んだりすることは、旅を象徴する営みであった。

芭蕉は、旅が自らの思想や感情を豊かにすると認識していたようで、川を渡り、街道を歩いて抱いた思いをもとに、作品を生み出すこともあった。芭蕉は旅の中で、ぬかるみに足を取られたり、川留めにあったりするなど、道中、様々な困難を経験している。

一方で、乗っていた馬のしぐさから得た気づきや、船で川を下った実感を作品として残した。芭蕉が「旅の詩人」と称されるわけは、旅を重ねる中で俳諧の可能性を追い求めたことにある。

本企画展では、川や道と芭蕉との関わりについて、『奥の細道』をはじめとする旅にまつわる芭蕉真筆や資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和6年10月5日（土）～令和6年11月17日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 3,237人

6) 出 品 点 数 18点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉筆「むまに寝て・みちのべの」句文懐紙（千代倉歴史館蔵）
- ・元禄2年閏正月20日付鳥金右衛門宛芭蕉書簡（個人蔵）
- ・元禄2年2月15日付桐葉宛芭蕉書簡（個人蔵）
- ・元禄2年9月22日付杉風（推定）宛芭蕉書簡（個人蔵）
- ・芭蕉筆「やはらかに」発句・脇懐紙（島田市博物館蔵）
- ・東藤画・芭蕉賛「たび人と」謡前書付句画賛（当館蔵）
- ・延宝8年9月19日付蛤直段付之覚（個人蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

和装本づくり講座（10頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

チラシ (表)

チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
令和6年 4月21日（日）	第38回企画展関連講座 初公開 芭蕉筆「なにの木の」等 二句懷紙をめぐって	筑波大学名誉教授 清登 典子	65人
8月18日（日）	第39回企画展関連講座 濁子・素堂との交友から見る 芭蕉の紀行文	公益財団法人東洋文庫専任研究員 深沢 眞二	54人
10月12日（土）	第40回企画展関連講座 近世紀行文世界における知の連鎖と蹉跌 ～芭蕉の位置～	山形県立米沢女子短期大学教授 原 淳一郎	45人

② おおがき芭蕉大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和6年 6月 9日（日）	捨女の作品と人生 ～女性俳人の句を読む～	白百合女子大学非常勤講師 永田 英理	58人
12月 1日（日）	森川許六の絵画	彦根城博物館学芸員 高木 文恵	45人
12月22日（日） ※台風10号接近の影響 により9月1日（日） から延期	許六と彦根俳壇 ～藩士たちの風雅～	成蹊大学准教授 牧 藍子	52人

③ おおがき先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和6年 7月 7日（日）	東京大学理学部化学科日本人 初代教授 松井直吉 ～櫻井錠二、池田菊苗とともに～	化学史学会副会長 東京大学大学院学術研究員 河野 俊哉	64人
9月29日（日）	一道砲声、天に雷震す ～梁川星巖と吉田松陰の交わり～	金城学院大学教授 桐原 健真	58人
令和7年 1月19日（日）	宮内官僚・戸田氏共と岐阜・大垣 ～お殿さまたちの再就職～	宮内庁宮内公文書館研究職 篠崎 佑太	68人

④ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
令和6年 11月24日（日）	蕪村と同時代の連句はどのような ものか	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	47人

⑤ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
令和6年 3月31日（日）	第38回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	9人
4月14日（日）			22人
4月28日（日）			14人
5月12日（日）			14人
7月14日（日）	第39回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	22人
7月21日（日）			17人
8月11日（日）			10人
8月25日（日）			20人
10月 6日（日）	第40回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	34人
10月27日（日）			20人
11月 3日（日）			19人
11月17日（日）			15人

⑥ その他

第40回企画展の開催に合わせて和装本づくり講座を実施した。

- 1) と き 令和6年10月5日（土）
- 2) と こ ろ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- 3) 講 座 名 子どもも大人も楽しめる和装本づくり

4) 内 容

俳諧など江戸時代の文化を支えた出版業にちなみ、オリジナルの和装本を作成した。

- 5) 講 師 西尾市岩瀬文庫学芸員 青木 眞美・上野 加耶子
岩瀬文庫ボランティア
- 6) 参 加 者 29人

芭蕉生誕380年記念
奥の細道むすびの地記念館第40回企画展 関連イベント

子どもも大人も楽しめる

わ そう ぼん

和装本づくり



昔の和綴りで
自分だけの本
をつくろう

自分だけのシール帳や
スタンプ帳にもなるね



10/5（土） 13:30～15:30

会 場：奥の細道むすびの地記念館多目的室1
（大垣市船町2-26-1）

講 師：青木眞美 氏・上野加耶子 氏（西尾市岩瀬文庫学芸員）
および岩瀬文庫ボランティア

持ち物：はさみ・糸通し

要事前申込み

9/2（月）8:30～

10/4（金）17:15

※ 上記のQRコードからお申込みください



受講料無料

定員20名（先着順）

※ 対象は小学生以上。小学生は
保護者の同伴が必要です。
保護者も一緒に作業ができます。

【問合せ先】大垣市教育委員会文化振興課（大垣市丸の内2-29）

TEL:0584-47-8067（直通）

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① ふるさと魅力体験事業

大垣市内小学校・義務教育学校全19校のうち16校の6年生、1,268人（引率職員を含む）を受け入れ、見学事業を実施した。

令和6年度 ふるさと魅力体験事業奥の細道むすびの地記念館見学日程

No.	日程			学校名	参加人数（人）			
	月日	曜	見学時間		児童	引率職員	計	クラス
1	5月8日	水	9：00～10：45	南 小学校	48	4	52	2
2	5月27日	月	10：05～11：50	綾里 小学校	20	1	21	1
3	5月29日	水	9：00～10：45	青墓 小学校	54	2	56	2
4	5月31日	金	10：05～11：05 14：05～15：05	北 小学校	128	4	132	4
5	6月3日	月	10：05～11：50	西 小学校	110	4	114	3
6	6月7日	金	10：05～11：50 14：05～15：50	中川 小学校	136	6	142	4
7	6月14日	金	10：05～11：20 13：45～15：00	小野 小学校	149	7	156	5
8	6月17日	月	10：05～11：50	江東 小学校	87	4	91	3
9	6月18日	火	9：15～10：40	日新 小学校	32	2	34	1
10	6月26日	水	10：05～11：50	赤坂 小学校	74	4	78	3
11	6月28日	金	10：05～11：50	荒崎 小学校	55	2	57	2
12	7月1日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	東 小学校	77	3	80	3
13	7月3日	水	10：05～11：50	墨俣 小学校	42	3	45	2
14	9月4日	水	9：45～11：30	上石津 学園	29	1	30	1
15	9月20日	金	10：05～11：50	宇留生 小学校	83	4	87	3
16	10月4日	金	9：00～10：45	興文 小学校	90	3	93	3
					1,214	54	1,268	—

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・AVシアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

② 出前講座等

依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和6年 6月24日（月）	大垣の先賢について	大垣市立北小学校6年生 出前講座
7月2日（火）	ふるさと大垣のじまんをみつけよう ～奥の細道むすびの地と大垣城について～	大垣市立安井小学校3年生 出前講座

(3) 博物館実習

3大学、3人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	令和6年8月2日（金）～8月6日（火） 8:30～16:30
場 所	8月2日（金） 奥の細道むすびの地記念館 3日（土） 守屋多々志美術館 4日（日） 奥の細道むすびの地記念館 5日（月） 奥の細道むすびの地記念館、守屋多々志美術館 6日（火） 奥の細道むすびの地記念館
実習生	岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科 1名 滋賀県立大学 人間文化学部 地域文化学科 1名 名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 1名

② 実習内容

実習日	実習内容
8月2日 (1日目)	1) 講話「奥の細道むすびの地記念館について」 ・展示室の見学と展示方法について ・収蔵庫の見学と資料管理の方法、留意点について ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること 2) 実習「掛軸・卷子・和本の取扱い」 ・掛軸の掛け方・巻き方、巻子の開き方・巻き方、和本の開き方
8月3日 (2日目)	1) 実習「ワークショップの運営」 ・守屋多々志美術館の子ども向けワークショップ ・ポスターを作成する子どもたちの補助 2) 講話「守屋多々志美術館における学芸員の役割」 ・展示室の見学 ・守屋多々志美術館の概要と学芸員の役割について 3) 実習「展覧会の企画運営等」 ・守屋多々志美術館における展覧会の模擬企画 4) 実習「展示資料の調査」 ・展示場所の確認、展示資料の採寸
8月4日 (3日目)	1) 講話「展示の企画」 ・展示の企画の考え方、手順 2) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の解説文作成 3) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製

実習日	実習内容
8月5日 (4日目)	1) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の解説文作成 2) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製 3) 実習「展示作業」 ・俳諧や大垣の先賢にちなんだ守屋多々志作品の展示
8月6日 (5日目)	1) 講話「展示解説」 ・展示資料の解説 ・展示の工夫、解説の方法 2) 実習「模擬ギャラリートーク」 ・資料を1点選び解説 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和6年 10月 2日（水）	大垣市「飛び出す市役所」出前講座 (青墓地区センター)	第40回企画展「川と道の織り なす芭蕉の旅」の見どころ
12月 8日（日）	暢心書道会	第40回企画展「川と道の織り なす芭蕉の旅」を終えて
12月18日（水）	大垣市「飛び出す市役所」出前講座 (「西美濃観光ガイドの会」代表者会議)	『奥の細道』のむすびの句「蛤の ふたみにわかれ行秋ぞ」を読み 解く
令和7年 1月13日（月）	伊賀びと俳聖芭蕉翁生誕380年 記念「オンラインパネルディス カッション 6 館学芸員が今、 明かす奥の細道と芭蕉の心」 (Zoom)	奥の細道むすびの地記念館の 紹介、大垣と芭蕉との関わりに ついて

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合 計
点 数	2,477点	280点	2,757点

※整理中の資料は点数に含まない。

令和6年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資 料 名	数 量	時 代
五竹坊筆「あの玉の」句画賛	1幅	江戸中期
右麦筆「何をして」等四句懷紙	1幅	幕末
右麦筆「出るほどの」句半切	1幅	幕末
支考等美濃派俳人句懷紙	1幅	江戸中期以降
『風俗文選』一～五（求版本）	5冊	江戸後期
『三冊子』（写本）	1冊	江戸後期
『芭蕉文集』天・地巻（後刷本）	2冊	江戸後期
『俳諧秘伝集』（写本）	1冊	江戸後期
『俳諧新苑集』上巻	1冊	幕末
廬元坊筆「かくれ家や」句文懷紙	1幅	江戸中期
『続山井』春発句	1冊	江戸中期
『諸国翁墳記』（本廟～小貝塚）	1冊	江戸中期
『諸国翁墳記』（本廟～梅香塚）	1冊	江戸後期
『諸国翁墳記』（本廟～蓬萊塚）	1冊	江戸後期
『諸国翁墳記』（本廟～梅が香塚）	1冊	幕末
『本朝文鑑』首～九	5冊	江戸中期
『陸奥衛』三～五	3冊	江戸中期
『俳諧 其角七部集』上・下巻	2冊	江戸後期
『俳諧寂菜』上・中・下巻（補刻本）	3冊	幕末
『おくのほそ道』（明和版 写本）	1冊	幕末
『俳諧七部拾遺』上・下巻	2冊	江戸後期
『おくの細道（絵入おくの細道）』人	1冊	江戸後期
『本朝文鑑』八之九	1冊	江戸中期
『三千風笛探』下巻（写本）	1冊	江戸中期以降
『七部集大鏡 猿蓑』六	1冊	江戸後期
「俳諧類五題」（評点帖）	1冊	江戸中期以降
『和漢文操』七	1冊	江戸中期
『俳人百家撰』	1冊	幕末
『芭蕉翁俳諧集』上巻	1冊	江戸後期
『去来抄』下巻	1冊	江戸中期
歳旦一枚刷	1枚	江戸後期
『七部集大鏡 七部 大鏡』序	1冊	江戸後期
『芭蕉翁七書』上巻	1冊	江戸後期
『俳諧続七部集』上巻	1冊	江戸後期

資 料 名	数 量	時 代
『俳諧続七部集』上巻	1冊	江戸後期
『芭蕉袖草紙』下巻	1冊	江戸後期
『炭たはら』上・下巻（合本 写本）	1冊	江戸中期以降
『山中間答』（写本）	1冊	明治以降
『歴代滑稽伝』（写本）	1冊	江戸後期
『芭蕉翁終焉記』（写本）	1冊	江戸中期以降
『芭蕉翁発句集』（寛政元年再版本 写本）	1冊	江戸後期
『芭蕉翁真蹟 幻住庵記』（複製）	1冊	江戸中期以降
『五元集』享・貞（写本）	2冊	江戸中期以降
『俳諧草庵集』春（写本）	1冊	江戸後期以降
『おあむ物語』	1冊	幕末
飯沼慾斎筆『草木図説』草之部稿本	27冊	幕末
飯沼慾斎筆 写生本	8冊	幕末
『新訂草木図説』草部校正本（『草木図説』草部初版本）	20冊	幕末
『新訂草木図説』草部試し刷り本	7冊	明治
『新訂草木』草部	20冊	明治
『有磯海 奥に姫の式』（写本）	1冊	江戸中期以降
『雪おろし』（写本）	1冊	江戸中期以降
『山吹集』	1冊	江戸後期
『雑談集』上・下巻（写本）	2冊	江戸中期以降
『暁台七部集初編』上巻	1冊	江戸後期
『俳諧十論衆議拾遺』	1冊	江戸中期
『つれづれの讃』一～四	4冊	江戸中期
『泊船集』下巻	1冊	江戸中期
『芭蕉庵再興集』（写本）	1冊	江戸中期以降
『初一念』	1冊	江戸後期
『伊勢新百韻』（写本）	1冊	江戸中期以降
『類題発句集』夏・冬	2冊	江戸中期

(2) 購入資料

資 料 名	数 量	時 代
木導筆「幻住庵記」画賛	1幅	江戸中期
中西彦左衛門宛小原鉄心書簡	12通	幕末
中西彦左衛門宛小原鉄心書簡	1幅	幕末
『蛙合』	1冊	江戸中期
芭蕉筆「蛤の」句懐紙	1幅	江戸中期
牟顔筆 俳諧十仙図	1幅	江戸中期以降

資 料 名	数 量	時 代
『卯花笠』	1冊	江戸中期
『俳諧華開眼』	1冊	江戸後期
『わすれぬ花』	1冊	江戸後期
木因筆「白く咲り」句短冊	1枚	江戸中期
河上斎右衛門宛梁川星巖書簡	1幅	幕末
『三日のひかり』	1冊	江戸後期
『秋時雨集』	1冊	江戸後期
『つきみつか』	1冊	幕末
『冬椿集』 乾・坤巻	2冊	幕末
『自然堂千句』 乾・坤巻	2冊	幕末
『鄙さえつり』	1冊	幕末
北浦大助宛和田万吉葉書	1枚	大正
大村西崖宛南条文雄書簡	1通(封筒入)	大正
童平宛支考書簡	1幅	江戸中期
鶯翁宛江馬細香書簡	1通	幕末
沼波琳安宛江馬細香書簡	1通	幕末
森春濤宛梁川紅蘭書簡	1通	幕末
玉巖宛梁川星巖書簡	1通	幕末
池田玄同宛梁川星巖書簡	1通	幕末

(3) 預託資料

資 料 名	数 量	時 代
芭蕉筆「なにの木の」等二句懷紙	1幅	江戸中期
芭蕉筆「花皆かれて」句短冊	1幅	江戸中期

(4) 資料補修

資 料 名	数 量	時 代
—	—	—

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和6年度

発 行 日 令和7年3月31日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-47-8636